

2023 年度自然保護講演会のご案内

日時：2023 年 5 月 20 日（土）15:30～17:00（受付 15:15 から）

会場：札幌市資料館 2 階研修室（札幌市中央区大通西 13 丁目）

講師：首藤光太郎氏（北海道大学総合博物館 助教）

講演題目：北海道における水生植物の生きざまとフロラ調査継続の重要性

定員：60 名

参加費：1,000 円（会員は無料）

講師紹介：北海道大学総合博物館助教。東京都出身。福島大学共生システム理工学研究科で学位取得後、新潟大学教育学部でのポスドクを経て、2019 年より現職。これまではツツジ科イチヤクソウ亜科における菌従属栄養性の進化や、国内産水生植物の分類や分布に注目した研究を中心に進めてきた。現職では北海道大学が所有する植物標本の管理を担当しており、これらを利用した北海道産植物の分類・分布に関する研究に取り掛かっている。

講演要旨：水生植物（水草）は、水辺に生育する植物群である。水辺生態系で一次生産者として重要な役割を果たす一方で、開発、水質汚濁や富栄養化、外来種といった人為的な影響により、国内では減少傾向にある。このような水生植物を効果的に保全していくためには、水生植物相（フロラ）調査による最近の分布状況の把握が急務である。しかし、陸生の植物と比較してその調査に特殊な機器や経験が必要であることから、把握は満足に進んでいない。国内で最も多くの湖沼を有する都道府県である北海道においては、この傾向は特に顕著である。

講演では、まず水生植物がもつ特殊な形態や生活史、その調査方法全般について紹介する。続いて、これまで演者が北海道・東北地方で進めてきたフロラ調査や、これによって見出された新知見を紹介する。最後に、調査によって見えてきた北海道における水生植物が抱える危機や保全上の課題について考察したい。